

2015～2016 年度クラブ運営方針
「元気なクラブ」

国際ロータリー第 2750 地区 多摩中グループ

東京昭島中央ロータリークラブ

TOKYO AKISHIMA-CHUO ROTARY CLUB



2016 年 (平成 28 年) 1 月 20 日 (水)
第 1264 回例会報告

事務局 〒196-0034 東京都昭島市玉川町 3-10-1 ヒルパークハイツ 1F TEL 042-544-1001 FAX 042-544-1002

●本日の司会 (吉野 和也副SAA)



●開会点鐘 (今藤 貴徳会長)

●ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

●本日のお客様



足立 直隆様

●会務報告 (今藤 貴徳会長)



昨日、1月19日(火)多摩中グループ協議会がございました。その中から2点ほど、お話をさせていただきます。

以前にもご紹介しましたが、ロータリーカードというクレジットカードがございます。今までは、オリコで使った中から0.5%が財団に寄付されるということで、私も作りました。それが新しくダイナースと提携をして、年会費不要で、クラブで作ることが出来る様になったそうです。すると、色々なクラブの支払いに使えて、0.5%の寄付が出来る様になります。近々、案内があるかと思っておりますので、その必要性について皆さんと考えていきたいと思っております。

年度初めにマイロータリーへの登録というお話をしたかと思いますが、当クラブの登録パーセントは6パーセントです。多摩中グループ全体でも20パーセントくらいで、グループでも危機感を持っているようですので、当クラブでも色々打ち合わせをしながら、どのような登録方法があるのか検討したいと思っております。

●幹事報告 (渡邊 信義幹事)



地区より「第5回日台ロータリー親善会議のお知らせ」届いております。

開催日時 6月5日(日)13:00～登録受付

開場 石川県立音楽堂コンサートホール

登録料 20,000円

締切り 2月19日(金)

東京大崎ロータリークラブより「オリンピック・パラリンピックによる卓話のご案内」が届いております。

日時 1月29日(金)

卓話者 黒岩俊幸(スピードスケート)

登録料 5,000円

締切り 1月21日(木)

●卓話「今後のペット獣医療の在り方を考える」 足立 直隆様

※講師紹介(須田 宏樹会員)

足立先生のご出身は、地元、昭島でいらして立川高校をご卒業後、北里大学獣医学部 獣医学科を卒業されて、平成8年より動物病院に勤務され、約20年臨床獣医師として活躍されています。3月21日に、中神町に足立動物病院を開院予定でいらっしゃいます。

※卓話



今回、このような機会をいただきましたので、動物病院、特にペットと、これからどのように付き合っていっていったら良いのかを中心にお話させていただきます。

ペットを飼っていない方ですと、獣医師って何をしているの、とお思いでしょうが、昔ですと、公園などにワンちゃんが集まって集団で狂犬病の予防注射をしているというイメージかと思っております。現在、昭島市では集合注射はほぼありません。私が駆け出しの頃は、虫が出た、というような治療がほとんどで、正直な所、大し

て勉強をしなくても獣医師が出来るような状況でした。

ところがこの20年間で状況がかなり変わりました。まず、ワンちゃんの寿命が7年くらいだったのが、今は15年くらいになりました。それに伴い、色々な病気も出てきました。これは、人間と同じでして、1番多いのは「がん」です。他には、循環器疾患、糖尿病、腎疾患などです。ワンちゃんも人間も治療は変わりません。費用も掛かりますし、辛い思いもしなければなりません。

そこで、1番の問題は、一生懸命お金を掛けて、辛い思いをして治療する意味があるのかどうかということです。人間の場合は自分で、ここが痛い、何して欲しいと言えますが、動物は分からないので飼い主が心配をして連れてきます。動物病院では、この病気だからこの治療をしましょう、とやってきたのが今まででしたが、果たしてそれで良いのでしょうか。皆さん、この子を何とかして欲しいと病院に連れてきて下さるのですが、病気を治してくださいと思っているのでしょうか。辛いのを治して欲しい、苦しいのを救って欲しいとももちろん思っているでしょう。飼い主さんにも色々な考え方があります。

しかし、我々が提供するサービス、医療が同じなのが、今の動物病院業界なのではないかと思っています。同じ病気でも、平均を取れば半年しか生きられない病気でも3年生きる子もいますし、1週間で亡くなってしまいう子もいます。それぞれ、オーダーメイドの治療をしていかなければならない、もしくは飼い主さんが、その子にどういう未来を求めているのかを聴いていかなければいけないと思います。

友人の話聞いていてもそうですが、動物病院のご批判を受けることがあります。行ったら高かったとか、死んでしまったとか、病気は治ったが安心出来なかったとか、様々あります。そうすると、飼い主さんは病気を治して欲しいのではなく、安心したいとか、苦痛を取ってほしいという要望で来ているのに、我々、獣医師側が聞き取っていない、受け止めていないということです。

私は、20年、10軒以上の病院で勤務させていただきましたが、飼い主さんはとても心配して来ている、というのは、どこの病院でも変わりません。それを受け止めるというのが、これからの獣医師の仕事ではないかと思えます。人間と同じで、高度医療もあります。抗がん治療、放射線治療で30万円くらい掛かってしまうこともあります。全ての飼い主さんがそこまで出来るのかというと、様々で、経済的に難しいとか、やったところで良くなるのかという疑問もあると思います。どこまでやりたいのか、どういう未来にしてあげたいのかを受け止めてあげなければいけないと思います。

※謝辞（渡邊 信義会長エレクト）

本日はありがとうございました。私は50年くらい前に秋田犬を飼っておりまして、3日間くらい玄関のところで唸りながら死んでいきました。それが見ていられなくて、以来、飼うのをやめました。お話の中で、ペットをあの子と何度も仰っているのを聞き、子供のように思って治療されているのだろうと思い、温かい先生だなあと感じました。



ニコニコBOX 発表 (内藤 征一親睦委員)



◎今藤会長
皆さん、寒い中ご出席ありがとうございます。足立先生、宜しくお願い致します。

○渡邊幹事
足立先生、卓話ありがとうございました。楽しく聞かせていただきました。

・志賀会員
足立様、本日の卓話、楽しみにしていました。よろしくお願い致します。

委員会報告 (須田 宏樹国際奉仕委員長)



12月22日(火)、フィリピンへの車椅子のコンテナ積み込みに、渡邊幹事と私で行ってまいりまして、無事に完了いたしました。写真も撮っておりますので、会報に載せたいと思います。

出席報告 (曳地 義正出席委員長)



会員数	47名
出席義務会員	45名
本日の出席	25名

(メイクによる出席者数を除く)

次週例会予定 (浅見 勇プログラム委員長)



1月27日(水)
卓話「年男 抱負を語る」

閉会点鐘 (今藤 貴徳会長)